

災害に強い県土を築く防災・減災対策

平成29年2月7日
とりまとめ担当課
建設企画課
内線 2845

局地的集中豪雨（ゲリラ豪雨）や台風などによる災害を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るため、ハード・ソフト両面から道路防災や治水対策、土砂災害対策などの総合的な防災・減災対策を推進し、安全・安心な県土づくりを進めます。

さらに、関東・東北豪雨による堤防決壊、北海道や岩手県の被災状況を踏まえた、緊急的かつ集中的な河川の堤防強化や水害リスク調査等に取り組みます。

【予算額】 12,547,150千円（H28：12,764,762千円 対前年度比0.98）

道路防災 2,269,626千円

災害時の「社会経済活動の継続」、「孤立地区解消」及び「迅速な救命救助・復興支援」の実現に向け、落石対策や橋梁耐震補強等を重点的に実施し緊急輸送道路等の寸断を防止します。

- ・落石対策 [国道120号(片品村)ほか]
- ・橋梁耐震補強 [国道462号新粕川橋(伊勢崎市)ほか]
- ・道路拡幅（孤立防止） [下仁田佐久穂線(南牧村)ほか]
- ・流出土砂対策 [国道291号(みなかみ町)]
- ・道路冠水対策 [太田大間々線(桐生市)ほか] など



国道254号(下仁田町)
の落石状況(H28年6月)

治水対策 5,704,426千円

関東・東北豪雨の堤防決壊、北海道や岩手県の被災状況を踏まえ、県管理河川の水害リスク調査を実施して水害危険度を評価し、水防・避難体制の充実・強化を図るほか、河川改修、堤防強化対策を実施することにより、人口・資産が集中する地域を中心に河川氾濫を防止します。

- ・河川改修 [井野川(高崎市)ほか]
- ・堤防強化対策 [谷田川(板倉町)ほか]
- ・水位・雨量観測システムの更新 [ライブカメラ設置ほか]
- ・水害リスク調査 など



井野川の出水状況(高崎市)
(H27年9月台風18号)

土砂災害対策 4,573,098千円

交通インフラ、要配慮者利用施設や避難所を保全するため、土石流対策やがけ崩れ対策に取り組みます。また、砂防基礎調査を実施して土砂災害危険度を検証し、警戒避難体制の整備や建築物の構造規制等のソフト対策を推進します。

- ・土石流対策 [戸島沢(沼田市)ほか]
- ・がけ崩れ対策 [千原地区(南牧村)ほか]
- ・地すべり対策 [戸室地区(高山村)]
- ・砂防基礎調査の更新 [みなかみ町ほか] など



大木平沢の土砂災害(沼田市)
(H28年9月台風13号)